

I. 調査の概要

1 調査の目的

市民のまちづくりに対する考えや市民生活に密着した事項について、市民の意識や市民ニーズを把握するとともに、今後の市政運営等の基礎資料とすることを目的に実施したものである。

2 調査項目

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) 暮らしの状況 | (8) 環境 |
| (2) 市の現状と将来 | (9) 観光 |
| (3) 子育て・福祉・健康 | (10) まちづくり |
| (4) 安全・防災 | (11) 交通・道路 |
| (5) 人権 | (12) 広報 |
| (6) 国際交流 | (13) 行政 |
| (7) 教育・生涯学習・文化・スポーツ | |

3 調査設計

- | | |
|------------|---|
| (1) 調査地域 | 厚木市全域 |
| (2) 調査対象 | 厚木市在住の18歳以上の男女（外国籍市民含む） |
| (3) 調査対象者数 | 調査票A：3,000人
調査票B：3,000人 総対象6,000人 |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収法 |
| (6) 調査期間 | 平成29年7月1日～7月20日 |

4 回収結果

- | | |
|-----------|---|
| (1) 有効回収数 | 調査票A：1,480人
調査票B：1,550人 総回収3,030人 |
| (2) 回収率 | 調査票A：49.3%
調査票B：51.7% 平均50.5% |

5 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」（Number of Casesの略）は、各設問の回答者数のことである。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

- (5) 設問によっては、過去に実施した「厚木市民意識調査」の結果と比較している。
- (6) 回答者数が20に満たないものについては、図表に示すに留め、この報告書の中では特に取りあげていない。
- (7) 集計結果の比率を考察する上では、割合表現を以下のとおりとした。ただし複数の選択肢または年代などの項目をまとめて考察する場合は必ずしもこの限りではない。

回答の比率（例）	割合表現	回答の比率（例）	割合表現
20.0%	2割	24.0%～25.9%	2割半ば
20.1%～20.9%	約2割	26.0%～27.4%	2割半ばを超え
21.0%～22.4%	2割を超え	27.5%～28.9%	3割近く
22.5%～23.9%	2割半ば近く	29.0%～29.9%	約3割

6 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団（厚木市全域に住む満18歳以上の男女）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

標本誤差は次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

N = 母集団数
 （厚木市の満18歳以上人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

(注) $\frac{N-n}{N-1} \div 1$

今回の調査結果の標本誤差は次表のようになる。（この表の計算式の信頼度は95%）

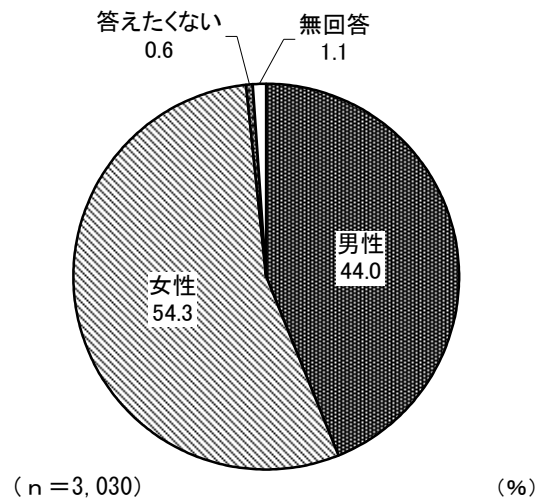
p n（基数）	回 答 比 率				
	90%または 10%	80%または 20%	70%または 30%	60%または 40%	50%
3,030票	±1.07	±1.42	±1.63	±1.74	±1.78
1,550票	±1.49	±1.99	±2.28	±2.44	±2.49
1,480票	±1.53	±2.04	±2.33	±2.50	±2.55
1,000票	±1.85	±2.47	±2.83	±3.03	±3.09
500票	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
300票	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
100票	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

例えば、問1の「現在お住まいの地区にずっと住み続けたいですか。」という質問に対して、「ずっと住み続けたい」と答えた人は、3,030人のうち59.2%であった。回答者数が3,030人、回答率が60%前後のときの標本誤差は、上の表では±1.74%であるから、「ずっと住み続けたい」と考えている人は、厚木市在住の18歳以上の男女全体（母集団）の57.46%から60.94%の間にあると推定できる。（信頼度が95%のため、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。）

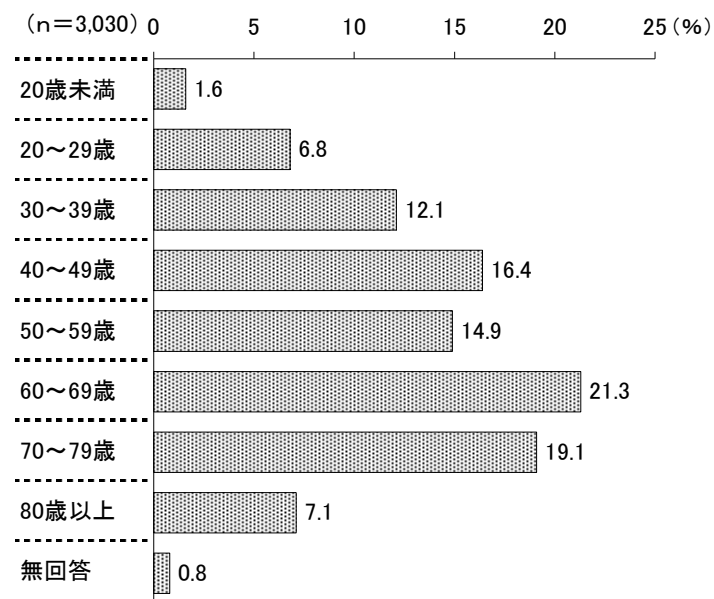
Ⅱ. 回答者の属性

1 回答者の属性

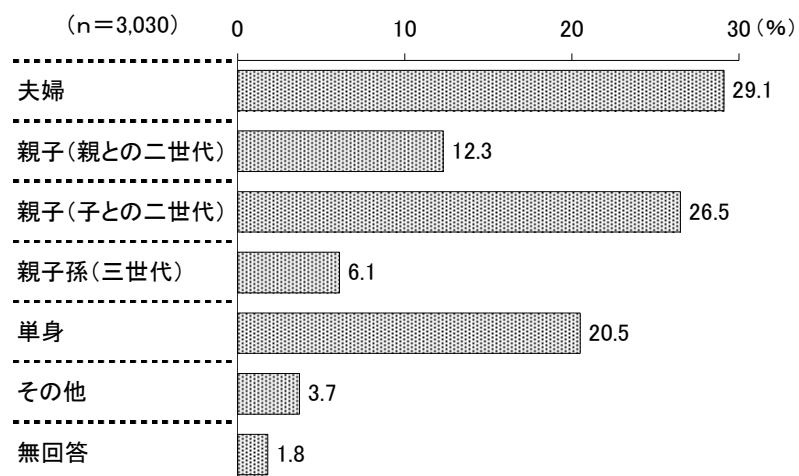
(1) 性別



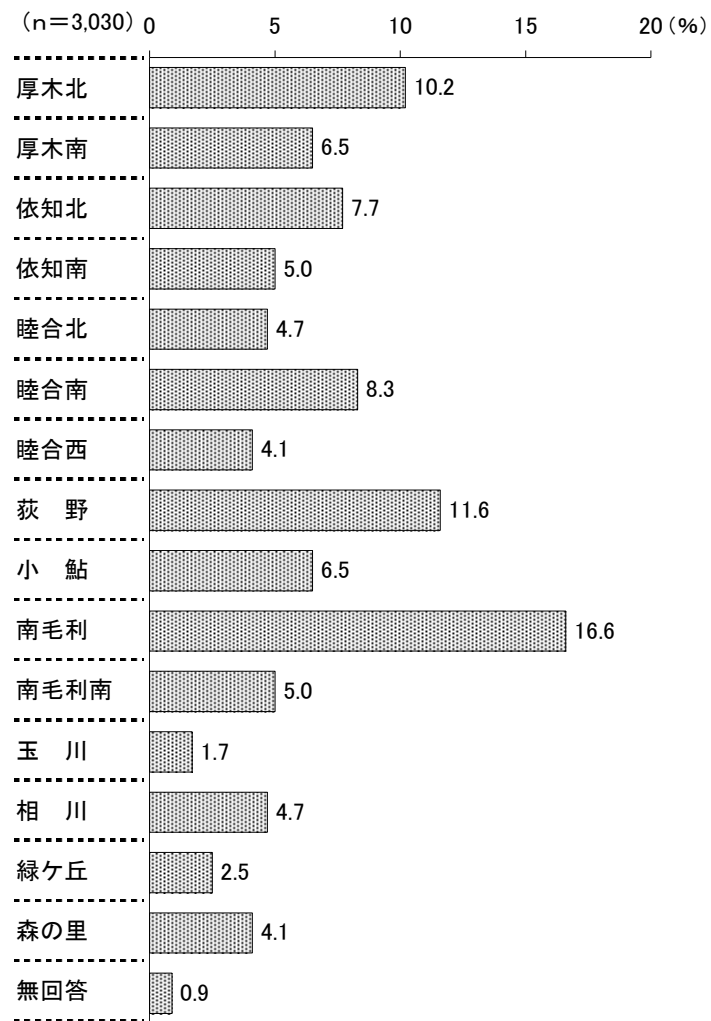
(2) 年齢



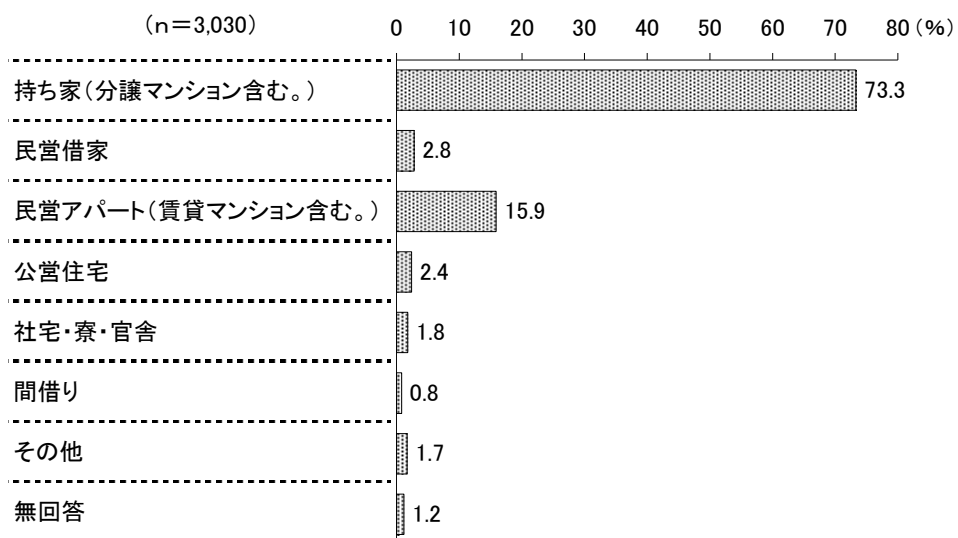
(3) 家族構成



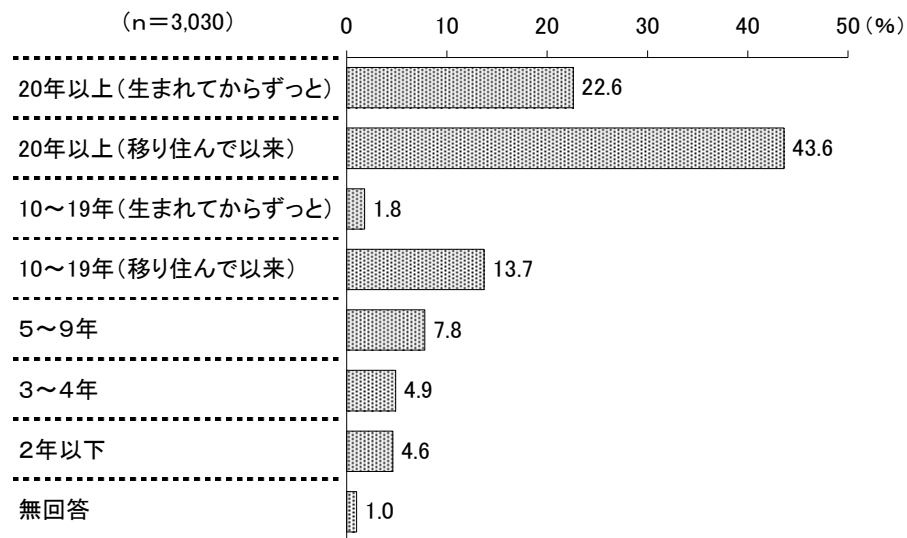
(4) 居住地区



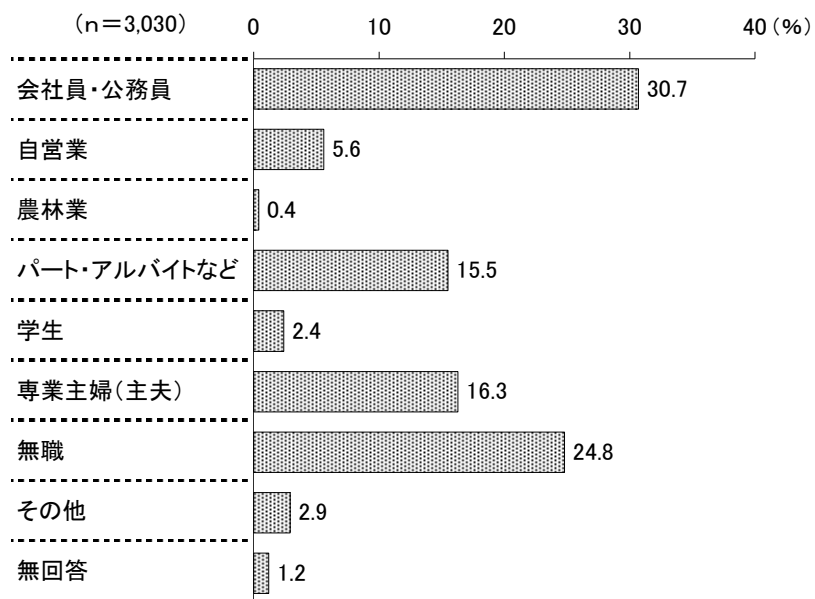
(5) 住居形態



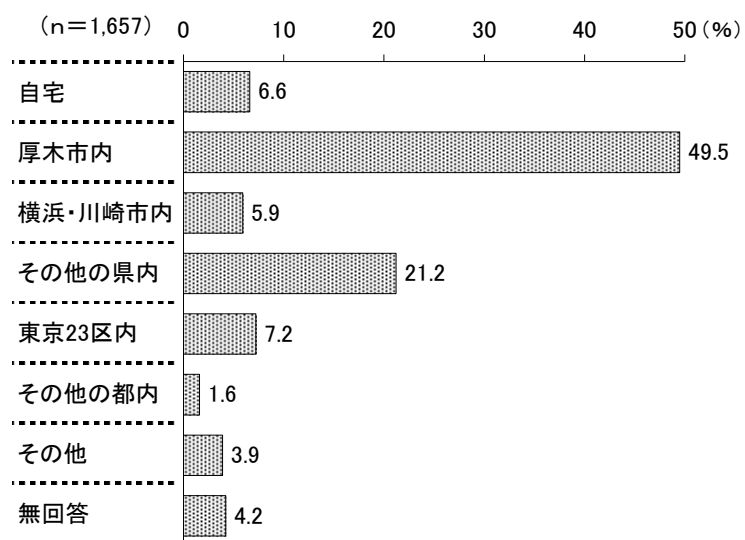
(6) 居住年数



(7) 職業



(8) 通勤（通学）先



(9) 最寄駅

